

〈本体商品の取付情報〉

年 式	型 式	車 種	取付商品のサイズ	本 体 の 取 付 方 法				注 意 事 項	オプション ※商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や弊社カタログ、ホームページ等でご確認ください。 ※表示価格は希望小売価格（税込）です。
				他社部品手配	取付キット類				
					型 番	主な付属品	希望小売価格（税込）		
H24/1～H25/12	U71V系 U72V系	標準ブラケット 使用車 注1,2	2D		KK-M24FP®	 注4	3,850円	注5,6,7,8 9,10	
		アタッチメント キット使用車 注1,3	2D		KK-M24FP®	 注4	3,850円	注9,11,12 13	

※フローティングモデルの適合情報については、弊社ホームページの「フローティングモデル適合情報」等でご確認ください。

- (注1) NT100クリッパーの場合も取付可。
- (注2) 標準装備のラジオ付車、またはディーラーオプションのオーディオ付車（標準装備のブラケットを使用）の場合。
- (注3) ディーラーオプションの日産オリジナルナビゲーション（2D一体機）付車の場合で、アタッチメントキット（B8207-C9917、単品の部品設定はなし）のブラケットを使用している場合（ブラケットの取付穴は、標準装備のブラケットより奥に6mm引っ込んでいます）。
- (注4) KK-M24FP[®]には窓口の隙間を埋めるパネル（2D用）、配線コネクタ（14P）等が同梱されています。
- (注5) 2D一体機を取付ける場合はKK-M24FP[®]を使用し、トレードイン1D取付けの場合はKK-M14FP[®]（希望小売価格3,850円、税込）を使用します。
- (注6) 1Dサイズはトレードイン1Dのみが可で、1D+1D取付けは不可（下段側への1Dサイズの取付けは、上段側より奥に6mm引っ込んで付き、段差が付くため取付不可）……1D+1D取付けをする場合は、純正アタッチメントキット（注3参照）を購入して取付けます（但し、アタッチメントキットの変換ハーネス・他は使用しないため余ります）。なお、標準仕様の純正ブラケットの下段側に、上段側と同じ位置に穴をあけて取付けることも可能です。
- (注7) 2D一体機は純正ブラケット上段側の2点止めとなります。
- (注8) 1Dサイズの場合はパネルキットのパネルを使用しても、パネルの周囲が少し見える取付けになります。2D一体機の場合はパネルキットのパネルが、クラスター窓口の裏面に少し強めに当たった状態での取付けになり、また、クラスター窓口裏面左右2ヶ所の凸リブ（0.5mm凸）にパネルが当たするため、凸リブを切取る必要があります。
- (注9) 標準装備のスピーカー内蔵ラジオ付車の場合は車両にドアスピーカー用の配線がなしで、リアスピーカーの設定もないため3電源のみが接続可能です。また、ディーラーオプションのオーディオ+フロント2スピーカー付車の場合は、フロントスピーカーの配線がラジオ本体から直接出ている別配線になっており、車両の14Pコネクタとフロントスピーカー部は導通していません。従って、車両のスピーカー用配線をそのまま使用してフロントスピーカーを鳴らすには、純正ラジオ背面に接続されているスピーカー用配線コネクタを外し、そのスピーカー用配線にステレオ本体側のフロントスピーカーコードを接続する配線加工作業が必要です（スピーカー取付可否表の注記⑤参照）……（標準でドア2スピーカー付車の場合については未調査で、ラジオ用配線の14Pコネクタとフロントスピーカー部の導通可否は不明です）。
- (注10) 標準のAM/FM（スピーカー内蔵）ラジオ付車の場合はスピーカーの取付けが必要になります……純正ディーラーオプションのフロントスピーカーについては、日産販売店でご確認ください（スピーカーはオーディオ本体とセットになっています）。また、パイオニアスピーカーを取付ける場合は、トリムに穴をあけて取付ける汎用取付けになりますが、フロントドアへの取付けは不可で荷室側面のトリムへの取付けになります（詳細はスピーカー情報参照）。
- (注11) 少し奥に引っ込む取付けになり、窓口周囲に多少隙間があきます。
- (注12) 1D+1D取付けの場合もパネルキットはKK-M24FP[®]を使用します（純正ブラケットの上下段の穴ピッチが50mmのため、1D+1D取付け時はKK-M14FP[®]は使用できません）。
- (注13) 車両によっては、KK-M24FP[®]に同梱のパネルの上部が車両側取付部のリブに当たる場合がありますので、その場合は車両側のリブの当たる部分を切取って取付けます。

〔取付キット類の主な付属品の記号〕

	ダイレクト接続コネクタ		アンテナ変換コネクタ（HFC）
	配線コネクタ （3電源、フロントスピーカー、リアスピーカー）		アンテナ変換コネクタ（GT）
	配線コネクタ （3電源、フロントスピーカー）		アンテナ変換コネクタ（CE）
	専用パネル、または窓口の隙間を埋めるパネル		ステアリングリモコンケーブル、または ステアリングリモコン用ミニプラグ

〔オプションの記号〕

	オプション欄にこの記号がある場合は、別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。
---	---

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報（PDF）の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	PRS	カスタムフィット								注記 B	ボックス タイプ	ユニットタイプ						サテライト		
			TS- Z900PRS	TS- V174S	TS- C1740S C1740	TS- F1750S F1750	TS- C1640S C1640	TS- F1650S F1650	TS- F1050S F1050				TS- X210 X170	TS- A6971F	TS- A1671F	TS- A1371F	TS- G1010F	TS- E1010	TS- STH100	TS- STX510 STX510B	TS- STX710AS	
バン	SPなし車	①	×	×	×	×	×	×	×			②										
	標準SP付車	③										②③										
	D.O.Pの SP付車	④⑤	×	×	×	×	×	×	⊙⑦			④⑤					⊙②⑧	⊙②⑧	×	○ ⑥⑩⑫ ルーフ サイド		
	荷室側面	⑨										⑬					△⑪	◆⑭		○ ⑥⑩⑫ ルーフ サイド		
① スピーカーなし車の場合は純正ブラケットが装着されていないため取付不可。 ② トリム表面からの汎用取付けは不可。 ③ 標準でフロント2スピーカー付車（GL）は未調査で取付可否は不明。 ④ ディーラーオプションのフロント2スピーカー付車の場合は、トリム裏面に装着されている純正ブラケット（鉄板）に取付可。取付ける場合は純正ブラケットをトリムから一旦取外し、スピーカーを純正ブラケットに取付けてから元通りトリムに純正ブラケットを取付けます。 ⑤ 車両のドアスピーカー用配線（平端子）は純正ラジオ本体から直接出ている別配線になっており、ラジオ用の14Pコネクターとフロントスピーカー部は導通していません。従って、純正ラジオも同時交換する場合は、純正ラジオ背面に接続されているスピーカー用配線コネクターを外し、そのスピーカー用配線にステレオ本体側のスピーカーコードを接続する配線加工が必要です……スピーカー用配線の色は右スピーカーが灰（⊕）と灰/黒（⊖）、左スピーカーは白（⊕）と白/黒（⊖）になっています（但し、事前に確認の上接続してください）。また、ドアスピーカー側の平端子は、⊖側の端子幅がスピーカー端子よりも少し広いため、外れることがないようにテープ巻きなどをする必要があります。 ⑥ ハイルーフで成形天井仕様車（GX、GXターボの場合）、および標準ルーフ仕様車を除く（未調査で取付可否は不明です）。 ⑦ 純正ブラケットの取付穴が塞げず、スピーカーの周囲に隙間があく取付けになります。 ⑧ 付属のグリルは使用せずに、ユニットのみを純正ブラケットに取付ける交換取付けが可。 ⑨ クリッパーには純正リアスピーカーの設定はありません。 ⑩ ハイルーフ仕様車（成形天井を除く）の場合に取付可で、Cピラー（クォーターピラー）部上方のルーフバーを取付けているネジに、スピーカーに付属の取付金具（車両のネジ穴などへの取付用ステー）を使用して取付けが可。 ⑪ 別売のカースピーカー取付キットUD-K125（希望小売価格2,750円、税込、2個1組）を使用して取付けます。 ⑫ リアピラー部にはトリムがないため取付不可。 ⑬ 荷室側面のサイドトリムに穴をあけて取付ける汎用取付け。 ⑭ スピーカーに付属のスペーサーを使用して取付けます。																						

〔PRS／カスタムフィットスピーカーの記号〕

⊙	取付可（スピーカーに付属のコネクター使用）	⊕	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
◇	取付可（スピーカーに付属のブラケット等使用）	⊗	取付可（別売の「カースピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
□	取付可（別売の「カースピーカー取付キット」使用）	⊞	取付可（別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
回	取付可（別売の「インナーバッフル」使用）	×	取付不可
⊙	取付可（配線加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可（スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要）		

〔ボックスタイプ／ユニットタイプスピーカーの記号〕

⊙	取付可	⊕	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
⓪	取付可（鉄板加工が必要）	◆	取付可（スピーカーに付属のスペーサーを使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
△	取付可（別売のUD-K125使用）	×	取付不可
▲	取付可（別売のUD-K125使用で、鉄板加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(×)	取付不可（サードシート未使用時に限り取付可）
		×	取付不可
△	条件付きで取付可（注記参照）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報（PDF）の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。